

## 令和5年度 第7回河原地域振興会議議事概要

日 時 令和6年1月26日（金）15時30分～17時00分

場 所 八上地区公民館

### 〔出席委員〕

竹田賢一、林 昭男、奥谷仁美、下田和実、西谷美智子、渡邊幸勇、田村 稔、坂本綾子  
（順不同）

### 〔欠席委員〕

楮原典子、中村佳紀、山下教幸、浅田義昌

### 〔説明者〕

田淵八上地区公民館長

### 〔事務局〕

九鬼支所長、武田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、前田地域振興課参事、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長、吉田地域振興課課長補佐

### 〔傍聴者〕

なし

## 会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - 1) 八上地区の状況、活動について
  - 2) 令和5年度台風7号の被害について
  - 3) 委員提出案件について
- 4 その他
- 5 閉 会

## 議事概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - 1) 八上地区の状況、活動について  
説明者：田淵八上地区公民館長  
**【委 員】** 昔行われていたはずの曳田川を舞台とした音楽イベントはどうなったのか。  
**【事務局】** 町からの補助金もあり、女性たちで作った実行委員会に委託して行っていました。併せて、フライトフェスティバルの選手や補助員を地元の家庭に民泊で泊っていただき、曳田部落の夏祭りも同時に開催したと思います。  
**【委 員】** とてもいい雰囲気の祭りであったし、人も多かったのですずっと続くと思っていた。商工会も参加していたようだ。  
**【委 員】** トラブルがあったと聞いている。3,000人くらいはいたのではないか。対岸も買って町有地とし、子供も遊べるようにした。この広場の完成記念も兼ねてい

た。あゆ祭りも以前は、あゆのレプリカを担いで支所から会場まで繰り出すなど盛大だった。昔と今では随分と変わっている。

## 2) 令和5年度台風7号の被害について

説明者：前田地域振興課参事、岡本産業建設課長

【委員】 農協の関係で2月ごろに説明会がある。農業者の災害復旧の際の自己負担率が10%から1%になったのは大変ありがたいが、農家にとって米を買わねばならないというのはつらい現実だ。水路など復旧が田んぼの時期までに間に合わない場合の手立てはあるのか。

【事務局】 北村の大きい場所でも県の護岸復旧が4月末、水路の復旧、その後、堰の土砂撤去及び堰の確認という流れなので、今年の田植えには間に合わないと説明しています。また、鳥取市では、応急復旧の部分については災害査定を受けていないので、応急復旧はしていません。また、現時点では米の生産農家が米を買う場合の補填制度的なものがあるとは聞いていません。

【委員】 約360箇所にも上る災害箇所はまだ増えていくことがあるのか。

【事務局】 これからまだ増えていく可能性はあります。

【委員】 田んぼの側面が壊れた場合で、片方は県で片方は民地だった場合、復旧するのは誰になるのか。

【事務局】 県管理河川であれば県が直すが、そこに市道が存在すれば市が直す場合がほとんどです。片方が畔であれば受益者負担となります。また、法定外（青線）水路は地元管理となります。県道の側溝は、基本は県が修繕を行います。用途が農業用であれば水路は受益者負担となります。

【委員】 畔の高さの上半分は上の方が、下半分は下の方が直すことになっているのではないか。

【事務局】 地域によって異なります。それぞれ地域の慣例があります。水路は市が直すケースも結構あります。周辺への影響度によります。防火用水に使っているから市が直すという考え方はないです。

【委員】 河川とのからみで田植えには間に合わないことも出てくるだろう。費用負担が1%というのはありがたい。水路の修繕は、水路組合で案分し、生活用水も案分している。応急処置してあるものは、次の災害が来たら持たないので早く直してほしい。災害復旧はいつまでに直さないといけないとかの年限はあるのか。

【事務局】 3カ年の間に設計と発注だけ済ませてあとは繰り越しになるのではないかと考えられます。

【委員】 孤立集落のへりは何回かチャレンジしたのか。

【事務局】 天候等の要因があり3回飛びました。

【委員】 避難所の件も大変お世話になった。

## 3) 委員提出案件について

### 1. 町内各地区公民館の活性化に向けての対応について

【委員】 これから人が減っていくのは事実だ。活性化をどうしていくか。一つの案として、方向性をひとつにし、行政・農協・商工会が連携してはどうか。工業団地に

勤める人が河原町内に住んでもらってほしい。また、点数をつけて、草刈りや果樹園の手伝いをした人に対する報酬制度を設け、若い人にも参画してもらってはどうか。併せて企業にも参画してもらい、空き家対策も含めた移住施策を実施してはどうか。

また、新しい造成地に住宅がどんどん出来るが、自治会への加入率が問題だ。自治会に入るメリットをより魅力あるものにする必要だ。村の掃除や様々な負担金、行事やイベントへの参加などのデメリットもあるだろう。人と人とのつながりのメリットも考慮していく必要がある。

【委員】 地区の納涼祭をやったところ300人が来た。地区外の子供も多く参加してくれた。続けていきたいと思う。

【事務局】 自治会に入ることで、人と人とのつながりや安心したまちづくりにつながることをPRしてほしいです。まち協のほうでもいろいろと取り組んでいただいていると思いますが、活動に関する補助金など今後ともいろいろ相談してください。空き家に関しても河原町全体で取り組みを考えているところです。

【委員】 空き家を壊して更地にすると、固定資産税が高くなるのはおかしいのではないか。近隣にも家が倒れたままになっている。国が変えていくべきではないか。

## 2. 「名勝 霊石山」にトイレを設置することについて

【事務局】 観光・ジオパーク推進課の方で山頂のトイレ設置に向けて検討しているところです。ただし、設置した後、トイレトペーパーの取り換えなどの維持管理について地元がどのような対応ができるかです。現在ある仮設トイレはフライト関係者が行っています。6年度予算が通れば設置に向けて動き出すと思いますが、管理について関係者と今後ご相談させてください。バイオマスのトイレを予定しており、おがくずの取り換えも必要になってきます。伊勢ヶ平の設置は難しいと思います。

## 4 その他

【委員】 河原地区の歩道の除雪は現在しているのか。

【事務局】 通学路は保護者がかいていました。

【委員】 国道から一本入ると道ががたがただ。

【事務局】 国道は1回かいた後、グレーダーでさらにかいています。県道はタイムラグがあるようです。

## 5 閉 会